

校長室だより

至

福



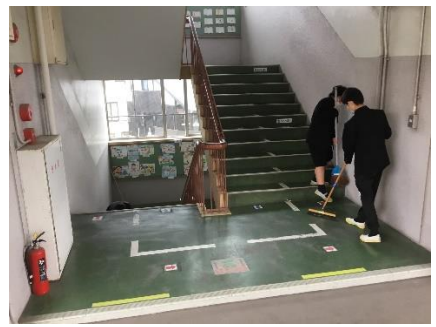
VOL. 10

(R 6. 3. 11)

6年生 感謝の気持ちを込めて（3月6日）

6日（水）の5・6時間目、6年生が学校の奉仕作業をしてくださいました。毎年、卒業式前のこの時期に、伝統的に行っている取組です。廊下や階段、手洗い、流し、特別教室等、各クラスで分担し、6年間の感謝の気持ちを込めて、一生懸命に掃除を行ってくださいました。

毎日の掃除時間での取組以上に、汚れを見つけ出し、隅々まで丁寧に磨き、力を入れて拭き、仲間と声をかけ合いながら気持ちよく活動を行い、校舎をとってもきれいにしてくださいました。他学年の児童は、授業中でしたが、頑張る6年生の姿を見て、「すごい！！」「立派だ！！」と思ってくれたのではないのでしょうか。下級生の手本となる6年生を見て、最高学年としての大きな心の成長を感じることができ感動しました。



6年生を送る会（3月8日）



2校時、全校児童が体育館に集まり、6年生を送る会を行いました。ここ数年、コロナウイルス感染症のため体育館に全校児童が集合して実施することができなかった会です。5年生が中心となり、会の計画、当日の司会進行を務め、会場は、「6年生、ありがとう」という感謝の気持ちであふれた、とっても心温まる空気に包まれていました。1年生から5年生は、出し物を披露したりプレゼントを渡したりして6年生への感謝の気持ちを一生懸命に心から伝えてくれました。

6年生は、素直な気持ちを言葉や表情で表し、在校生の思いに応えていました。単に、「寂しい」とか「悲しい」気持ちではなく、今までの人生の中で、経験したことない感情がわいてきたのではないのでしょうか。そして、「小学校卒業」という大きな節目の実感が増してきたことでしょう。

在校生からは、「とっても楽しかったよ。」「6年生が笑ってくれたのが嬉しい。」「感動した。」「6年生が卒業すると寂しいよ。」「僕、泣いたよ。」という感想が聞かれ、在校生にとって6年生は、とても大きな存在であったことを改めて感じることができました。卒業まで残り1週間です。

